

令和4年度長野県高校体育連盟総合体育大会剣道大会実施に関する  
『新型コロナウイルス感染拡大防止対策』連絡事項（重要）

【大会運営】

1. 以下に該当する者は出場（関係者は参加）できない。
  - ①基礎疾患のある者
    - ・基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう。
    - ・これらの者が理由あって出場（参加）する場合は、主治医の承認を得るものとする。
  - ②発熱のある者（個人差があるが、一般的には37.5度以上ある者をいう）
  - ③咳・咽頭痛など風邪の様な症状がある者、その他体調がよくない者、同居家族や身近な知人に感染及び感染が疑われる方がいて接触がある場合。
  - ④過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
2. 選手並びに関係者は、大会当日に自宅で検温を行い、確認票に、氏名・住所・連絡先電話番号及び当日の体温を記録し、大会会場に持参する。
3. 選手は、面マスク及びいわゆる家庭用マスク（関係者は家庭用マスク）を持参する。選手は、試合時には面マスク、それ以外（試合開始までの待機中等）は家庭用マスクの着用を前提としている。試合時以外でも面マスクを着用する予定の選手は、面マスクのみの持参で可。審判員及び役員はマスク（白色の不織布マスク）を着用、係員（受付、検量等）はマスク及びフェイスシールドを着用する。
4. 選手は、試合中マスク及びマウスガードを必ず使用する。マスクは口と鼻を覆うものとする。

**※試合以外は不織布マスクを推奨**
5. 大会は無観客で行い、入場は、選手・監督・顧問・大会役員・係員等許可された関係者のみとする。大会関係施設への立ち入りも同様とする。
6. 選手並びに役員等関係者は常にフィジカル・ディスタンスを保つようにする。（人との距離を最低でも1m保つ）。
7. 観覧席使用の場合は、3密を避けるため1席以上の間を空け座る。場所取りは行わず、荷物は所定の場所に置く。

【入場にあたって】

1. 選手並びに関係者は、自宅と大会会場との往復の際にはマスクを着用し感染予防に努める。
2. 着替えの際は、密集を避けるため、できるだけ家庭で着替えを行った上、入場する。更衣室では密にならないよう努める（荷物は所定の場所に置く）。
3. 受付・施設入場・竹刀検量を行う際は係員の指示に従い、行列にならないよう他者との距離を十分保つ。
4. 大会会場に入場する全ての生徒、顧問、役員は「参加者健康確認票」に必要事項を記載し、提出す

る（選手・補助員は顧問が集めて受付で提出）。

複数日参加する場合は、参加の最後の日に提出する。（確認は毎日行う）

- ①確認票を持参しなかった者は、原則として入場できない。
  - ②無観客での大会のため、保護者・OB・OGは入場できない。
  - ③受付までに入場者全員の体温測定を行う。（家庭にて測定した者については確認を行う。）
  - ④大会で使用する全ての箇所については、入場を許可された者以外の立ち入りはできない。
5. 選手並びに関係者は、アルコール除菌液で細目に手指消毒を行う。また、細目に手洗いも行う（各学校または各自でアルコール除菌液を準備してさらに消毒の徹底を図る）。
6. 選手及び関係者は細目に手洗い・うがいを行う。

#### 【試合及び審判方法】

1. 鏝競り合いは感染防止の観点から、お互いに短くなる様に努める。やむを得ず鏝競り合いとなった場合は、すぐに分かれるか、引き技を出す。（鏝競りでの発声は行わない。引き技の瞬間的な発声は認める）。審判員は鏝競り合いを解消しない場合は、「分かれ」を宣言する。
2. 審判員は、試合時マスクを着用する。（白色の不織布マスクとする）
3. 審判員は、できる限り各自の審判旗を持参する。審判旗は共用しない。
4. 審判員の入場、位置、移動等については、全剣連からの資料を参照する。

#### 【大会時間、内容】

1. 開閉会式は行わない。表彰式については部門ごと、試合が終了次第行う。
2. 県大会での試合順については、1日目男女個人戦、2日目男子団体、3日目女子団体とし、それぞれ決勝まで行う（地区大会については、地区ごとの現状に合わせて行う）。
3. 試合時間は個人戦4分3本勝負。勝敗の決しない場合、4分ごとの延長戦を行い、2回終了後に呼吸を整えさせる為の休息を行い、延長戦4回終了ごとに面を外し給水処置を行う等の休憩をとる。休憩時間はおよそ4分間とし、4分後までには試合が開始出来る様に準備する。  
団体戦4分3本勝負。勝敗が決しない場合、延長戦は行わず引き分けとする。代表戦は4分1本。勝敗の決しない場合、4分の延長戦を行い、2回終了後に呼吸を整えさせる為の休息を行い、延長戦4回終了ごとに面を外し給水処置を行う等の休憩をとる。休憩時間はおよそ4分間とし、4分後までには試合が開始出来る様に準備する。  
試合の途中であっても選手の状況によっては、審判主任または審判員が試合を止め、状態の確認を行い、必要と判断される場合は休息または休憩を取る。
4. 「アップ練習」については、指定された場所、時間で行う。ただし、密にならないようにするため、出場選手のみ使用とし、短時間とする。

#### 【その他】

1. 選手及び関係者は、ごみは必ず持ち帰る。使用したマスク、ティッシュ等は持参したビニール袋に入れ、封をして持ち帰る。
2. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに専門委員長に報告す

る（濃厚接触者の有無等についても報告）。又、各校顧問は全剣連への報告も行う。

3. ビデオ撮影については、原則ギャラリーにて行う。

監督、選手のみでギャラリーにて撮影できない学校のために、選手席後方に撮影場所を設置いたします。指定された場所にて撮影を行ってください。

4. 新型コロナウイルス感染者が出た場合は、保健所の指示により PCR 検査等の実施をお願いすることがあります。結果は速やかに各地区専門委員長に報告してください。

5. 学校において生徒・教職員の感染が確認された場合、保健所が感染者の行動履歴把握や濃厚接触者等特定の為の調査お行います。学校設置者が、保健所の調査や学校医の助言を踏まえて臨時休業（学校の全部）の判断をした場合、当該学校はその期間は大会参加禁止とします。

但し、保健所の調査により濃厚接触者・接触者と判断されなかった生徒は大会参加可能です。

以上の内容については各地区大会でも同様に行います。